

山麓探偵団通信

9月号

ヤマガラの単立ちが遅れたのか、ここ山中湖では、八月上旬にまだ産毛に身をつつんだヒナの姿が見られます。ヒメホタルもいつもより一ヶ月遅れて見られたといいますが、全体に少し遅れ気味なのかもしれません。

みなさんの近所での自然界の様子はいかがでしょうか？

さて、六月二十八日・二十九日に開催された戸高雅史さんを団長とする探偵団「源流へいざない」は、定員八名の参加で、雨の中を出発しました。

山中湖からは裏山的な位置ですが、丹沢山系の奥深い源流域にある谷あいの河川まで汗を流して、リュックをおろします。

早速タープを張る人、薪を集め火を焚く人、食事をつくる人、釣竿を手に川の中を下る人など、思い思いに身体を動かしています。

夕食のあと、川の音と暗闇に包まれ炎揺らめく焚き火を囲み、戸高団長のお話を伺いました。

前人未踏のヒマラヤ登山にチャ

レンジしていた頃の貴重な体験談や、登山家になるきっかけや影響を受けた出来事などに、参加者全員が静かに聞き入っていました。あらためて自然への畏怖の念と「のち」に対する新鮮な感動に共感を覚えました。



↑戸高さんを囲み夜も更けて



←焚き火の跡も元に復し、感謝

翌日は晴天に恵まれ、焚き火の跡を元どおりに復し、この場への感謝と御礼をし、山越えの帰路にすぎました。

◇戸高雅史団長の講評

一連の流れが響きあう夜の時間、そして、共に過ごせる場をもて、よかったです。いたわりあう経験も、ごく自然にできるのが、この探偵団の素晴らしい点だと思います。

また、一泊後に、雨上がりの青空に富士山、眼下に湖を見下ろし、いいひとときでした。

◇参加者の感想

T・どんな天候でも、ありのままを楽しめるのだと思いました。

I・たき火の勢いに、生かされていると実感しました。

K・雨のもたらすわくわく感を味わい、また、戸高さんの雪山のお話が印象的でした。

木の切り方など、全身を使った動きを学びました。おそろしく、今後はこの場面を何度でも、思い出すにちがいありません。

O・雨は雨で楽しめました。ただ、山肌の崩壊、森の中の倒木など、痛々しい姿も目にしました。

S・はじめての体験ばかりで、よかったです。

W・未体験ゾーンばかりだったが、

大満足です。

I・今回は、自分にとっては四回目ですが、回を追うごとに充実して、なにかもが心にしみる体験でした。この感動を家族に話してあげたいです。
H・若手が自主的に動き、いい時間を過ごすことができました。

第235回 探偵団活動のご案内

△秋に見る昆虫の越冬作戦△

この時期にしか見られない昆虫の生態（越冬作戦など）を、埼玉大学の林正美先生とごいっしょにフィールド観察してみましよう。

・開催日：十月十六日（木）

・集合：午前9時半 P・まりも

・参加費：一八〇〇円 ガイド代、

保険代を含む

・持ち物：昼食・マイカップ・雨

具・任意でポケット図鑑・ルーペ・メモ帳など。

◎申し込み・問い合わせは三日前までに、電話かメールでお願いします。

発行 山麓探偵団 事務局
山梨県山中湖村平野 一六九八
電話 〇五五五・六五・七〇二三